

参加の皆さまへ

会場・オンラインともに、記録用に**写真撮影**を行っております。今後、広報等で利用する場合がありますので、利用不可の方は区役所職員へお申し出ください。

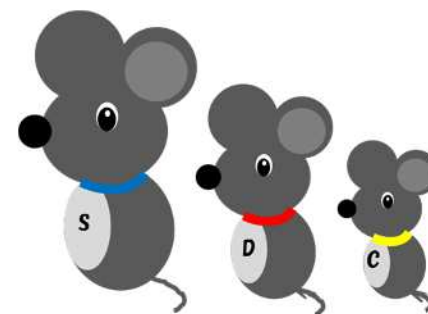
オンラインで参加の皆さまへ

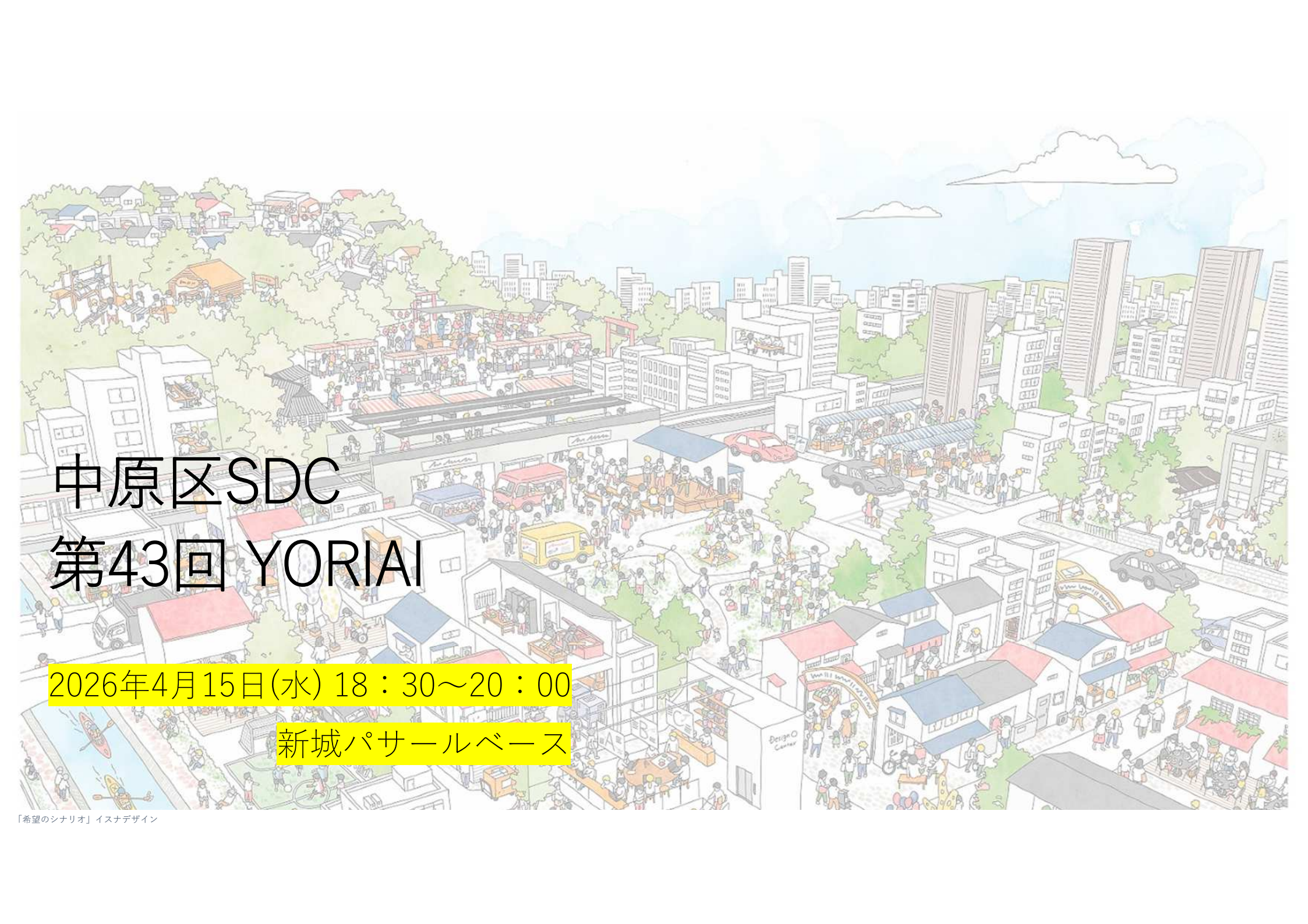
- 表示名を「お名前／団体（あれば）」に変更してください。

例：所属がある方 戸田／中原区役所

所属が無い方 須田

- ミュートでお願いします。
- 可能な限りカメラをオンでご参加ください。





中原区SDC 第43回 YORIAI

2026年4月15日(水) 18:30~20:00

新城パサールベース

本日のプログラム

- 1 オープニング
- 2 YORIAI企画
- 3 グループ報告（課題チャレンジG、なかはら宝さがし隊G、交流会G）
- 4 プロジェクト報告・告知タイム、次回のお知らせ、集合写真撮影
- 5 つながりタイム

中原区SDCとは？

Social Design Center

中原区ゆかりの個人・団体・行政によるコミュニティで
網の目のように細かい地域ネットワーク作りに貢献

何をしているの？

①「YORIAI」で交流・共有・提案

②課題Ch・宝探し・交流のテーマで取組み実施

③中原区SDC発プロジェクトの創出

中原区SDCメンバによる定例の交流・共有・提案の場です

【開催】偶数月第3水曜日 18:30- 奇数月第2土曜日 10:00-

【内容】第1部：YORIAI企画_月替わりイベント_20分

第2部：YORIAI報告_各G・PJから報告_20分

第3部：つながりタイム_30分

※ その他連絡含めトータル約1.5時間 途中退出/中途参加OK

【場所】中原区役所会議室/中原市民館・ZOOM

➡ これら3つにとらわれず、自由な発想で、活動の幅を広げていきましょう！

何が実現するの？

①地域での生きがい/やりがい発見

②地域の魅力創出・再発見

③取り組むべき地域課題の達成

<コミュニティルール>

- ①来るもの歓迎 全員で、去るもの追わず また来てね
- ②小学生から大人まで、多年代が幅広く
- ③手弁当の持ち寄りで、やれる範囲で精一杯
- ④ひとの意見は否定せず、明るく元気に前向きに
- ⑤みんなで分担、準備に片付け

<参加について>

【資格】中原区に何らかゆかりがあれば広くOK
政治・宗教・（過度な）営利活動はNG

【方法】①右のQRコードからSlackに登録
②YORIAI（月1回開催）への参加

【発展】①テーマ別グループへの参加
②YORIAI/各グループへの企画提案・実施
③中原区SDCの運営など



交流会グループ

武蔵新城の今を語る

送迎付飲屋ゆうこ誕生まで。

中原区宮内で認知症高齢者GHを始めて20年
ゆう和の成長と共に色々な地域課題が見えてきました。

見えてきた問題

- ①個別ケアの徹底が必要
- ②認知症は環境の変化に敏感ゆう和で看取りが必要
- ③虐待、身体拘束防止には客観的な目が必要
- ④中原区や宮内という場所で求められる福祉施設は何か？また亀井から指示するのではなく職員が自ら気付ける仕組みが必要
- ⑤防災等の観点からも地域との交わりが必要
- ⑥8050問題
- ⑦核家族で子供が老化や死を体験する場面がない
- ⑧孤独死問題（特に男性）
- ⑨施設入居すると施設から利用者が出る機会がない
- ⑩老々介護
- ⑪BPSDが大変なケースの受け入れ先が少ない

現在行っている地域とのかかわり

- ・ 中原区グループホーム連絡会主催
- ・ 川崎市介護支援専門員連絡会中原区支部長
- ・ 他GHとの合同研修（年2回虐待・身体拘束）
- ・ 共用型認知症対応型通所介護の開始
- ・ 緊急ショートステイの開始
- ・ 地域コミュニティカフェ みやカフェ創設
- ・ ゆう和隣子供文化センターとのイベント
- ・ 地域子供関係NPOとのコラボイベント
- ・ 運営推進会議（隣GHさん2事業所と共同）



みやカフェ

みやカフェについて

毎月第4木曜日に開催！！
13:30～15:30

場所 宮内公民館

偶数月 ⇒ おしゃべり会
奇数月 ⇒ 音楽会

参加費：100円
ドリップコーヒー、紅茶、緑茶
お茶菓子付

開催時間中、自由にお越しください。
予約等はありません。

共催
みやうち地域包括支援センター
中原区ボランティアの皆さん
中原区グループホーム連絡会
ニチイケアセンター川崎宮内
のぞみの家 |
のぞみの家 宮内
グループホームゆう和



みやカフェ動画 (youtube 2024.4)



- ・ GH利用者が外で活動できる。
- 利用者としてもボランティアとしても
- ・ 地域の様々な方々と顔つながりができる。

でも男性は1度きたきり続かない方が多い

送迎付飲屋 スナックゆうこ

どうせやるなら行政や社福等が担えない内容でやった方がよい。
昭和のお父さんはお酒好きが多い。
施設入居しても飲みたい人がいる。
飲屋の営業は施設利用者としている。



お申込みはこちら↓
グループホームゆう和 044-741-2553
メール：sougeinomiyaayuuko@gmail.com

送迎付飲屋 スナックゆうこについて

毎月第4火曜日に開催！！

場所 新城サカバー
(新城駅徒歩2分)

18:00～21:00

送迎 17:00～18:00 21:00～22:00

参加費：2,500円

(現在3,500円から期間限定値下中)

生ビール(1杯まで)

その他飲み物飲み放題

料理5品付

事前申込が必要です。

協賛

株式会社南荘石井事務所

共催

NPO法人みどりなくらし

グループホームゆう和

武蔵新城の今を語る | バナナ園グループ

介護を「地域の中」へ したい・やりたいを諦めないための入口づくり

中原区SDC YORIAI資料 2026.4.15



バナナ園グループについて

一人ひとりに寄り添った“その人らしく生きる”を、日々の暮らしの中で支える



基本情報

- ・少人数で安心して過ごせる認知症グループホーム
- ・“できること”を大切に、暮らしの自立を支援
- ・日々の生活そのものをケアの舞台にする

現場から生まれた強み

- ・バナトレ : 健康な体を“無理なく”支える
- ・チームケア : 小さな変化に気づきやすい体制
- ・日々の暮らしの中で「その人らしさ」を支える

地域に向けて大切にしたいこと

- ・入居者様も地域の方も「したい／やりたい」を諦めない
- ・認知症予防・身体機能維持を、地域の入口にもする
- ・介護を施設の中だけで終わらせない

今いちばん地域に開きやすい入口

健康な体は、入居者様も地域の方も同じ土台



バナトレ

- ・認知症予防。介護予防の入口
- ・運動は健康の土台
- ・無理なく続けやすい運動を地域へ
- ・「運動は認知症を予防する」



水耕栽培

- 育てる喜びが生まれる
室内で楽しむ水耕栽培
- ・役割・関わりの創出
 - ・“育てる／届ける”関係づくり
 - ・地域とつながる場になりうる
 - ・交流・学び・実践のハブ



認知症予防イベント

- ・関心・参加のきっかけ
- ・単発で終わらせず次へつなぐ



施設（拠点）

- ・地域とつながる場になりうる
- ・交流・学び・実践のハブ



すでに生まれている地域との接点

「外に出たい」ではなく、地域側から“接点”が生まれている



中原区（位置イメージ）



接点（実績・兆し）

（例）バナトレ：丸子多摩川いこいの家での継続実施

小田中地域包括支援センター、ヴィラージュ中原等から相談・依頼

- ・地域包括支援センター経由の依頼が増加（5月も予定）
- ・医療系大学の地域包括ケア実習の受け入れ

=“やりたい”を“続く形”に整えるのが次のフェーズ

地域をより良くする取り組み
中原区での可能性模索

なぜ地域とつなぐのか

健康・役割・交流が分断されると、地域でも施設でも続きにくい



現場で感じていること

- ・介護が施設内で閉じやすい
- ・「健康」「役割」「交流」が別個になりやすい
- ・介護が施設内で閉じやすい（ブラックボックス化）
- ・「コミュニティ形成がしづらい」

by地域包括支援センターご担当者



困っている人がまちの中に存在しているのに
互いにつながりづらい構造になっている



→ つながる「場」や「仕組み」がないと、続かない

バナナ園グループが現在目指している方向

模索中



実現したいこと

- ・入居者様も地域の方も、地域の中でゆるやかにつながる
- ・活動が単発で終わらず、自然に続く
- ・介護が地域に開かれ、相談や参加の入口になる
- ・地域包括ケアやつながりづくりとも重なる

→ 「閉じない介護」 「開かれた関係」

“自然に続く”の設計案

単発 → 継続

継続実施できる導線

参加 → 役割

関わりの“居場所”づくり

施設内 → 地域へ

拠点を開く・往来をつくる

支援 → 循環

一方向ではなく、関係が回る

バナトレ

パーソナルトレーニングジム

「SP-Body」と共同開催

機能解剖学を取り入れた
1人ひとりに合わせたトレーニング



水耕栽培

プランツラボトリー株式会社と

東京大学が共同開催

育てる喜びが生まれる
室内で楽しむ水耕栽培



音楽療法

音楽療法士の取り組み

心と体に働きかける
やさしい音楽ケア



狂言教室

狂言師との取り組み

“笑い”と“所作”で
心と体をととのえる伝統プログラム



YORIAI報告

グループ報告

課題チャレンジグループ

コミュニティのチカラで 地域課題に挑む

中原区SDC 課題チャレンジGr.について



課題チャレンジGr.について

区域 レベル 区域の 「ソーシャルデザインセンター」の創出

市民創発によって課題解決を行うため、
地域での様々な新しい活動や価値を生み出し、
社会変革(ソーシャルイノベーション)を促す
基盤(プラットフォーム)を創出します。

ソーシャルデザイン
センターの
イメージ



(川崎市「希望のシナリオ」より)

◆課題多けれども、取り組むプレイヤーもまた多し

⇒個々別々に存在している人や団体・企業、資源・活動をつないで**コミュニティ**を作り、
ポジティブな相互作用をうみだします

2026年 いまままでの取組み

【第41回YORIAL_2026/2/18】

- **中原区 地域包括ケアシステムの現在地**

(インプットセッション)

「川崎市の地域包括ケアシステムと中原区の取組」

田村 彩乃 (中原区役所 地域ケア推進課)

(トークセッション)

「現場での取組と、そこで感じる課題」

横山 正太 (いだ地域包括支援センター センター長)

めいめい (栄養士/不登校の親の会/不登校オンラインコミュニティオーナー)

田村 彩乃 (中原区役所 地域ケア推進課)

次回のプログラム

10:10～ YORIAI企画【多世代・多主体でつくる地域包括ケアのかたち】

10:10～10:15 インTRODクシヨソ

10:15～10:35 クロストーク

- 地ケアを含む地域課題を、より身近に自分事化するには？

10:35～10:53 ワークシヨツプ

- チームワークQ&A
- ミニワークシヨツプ

10:53～10:55 クロージソグ

<登壇者>

- 松枝 勇治さま（一般社団法人 横浜イソベーション推進機構 アドバイザー）
- TBD
- TBD

次回YORIAI（2026年5月9日）もぜひご参加
ください！



乞うご期待！

ソーシャルイノベーションを
この街から

YORIAI報告

グループ報告

なかはら宝さがし隊グループ

YORIAI報告

グループ報告

交流会グループ

プロジェクト報告・ 告知タイム

次回日程

日時：令和8年5月9日(土) 10：00～

会場：未定/オンライン

<問い合わせ先>

中原区役所企画課

電話：044-744-3149(平日8:30~17:00)

F A X：044-744-3340

メール：65kikaku@city.kawasaki.jp

写真を撮りましょう！

※今後、広報等で利用する場合があります。
利用不可の方は区役所職員へお申し出ください。

